

長野県の蚕の歴史

生糸ができる流れ

- 養蚕

長野県では寛文の時代
(1661~1673) に
はじまった

- 製糸

長野県では**1872年**に
初の機械製糸場

養蚕

- 上田が日本一の蚕種製造地帯となった背景。

- ①桑の栽培適地

- 歩桑をつかって養蚕をしていた。

- ②養蚕に適した気候だった。

製糸

・岡谷が日本最大の製糸地帯になった理由。

①諏訪式という繰糸機の開発

②経営基盤強化

③蚕業教育の充実

その後

- 1960年代から徐々に精密機械工業へ力を入れる。
- 今は、群馬が養蚕・製糸で全国一位。
- しかし、近代国家への転換に大きく貢献した。